

# 論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 9 号

2011 (平成23) 年12月17日 (土)

あい はんたい にく

## 愛の反対は憎しみではなく

## む かんしん 無関心である

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

東日本大震災という日本がかつて経験したことのない大変な年が暮れようとしています。また、「寺子屋・こども論語塾」も開塾して早や1年が経過します。私にとってまさに忘れられない年になりました。さて、最初の標題は、世界の貧しい人々を救うために生涯を捧げ、1979年にノーベル平和賞を受賞し、1997年に亡くなったマザー・テレサの言葉です。

インドのカルカッタのスラム街(とても貧しい人々が暮らしている地域)で、誰からも相手にされずに道端に放置(そのままにしておく)されたままの死を待っている人々を見たマザー・テレサは、「死を待つ人の家」を作り、人間らしく死ぬるように世話を始めたのです。

愛についてのテレサ語録は多いですが、標題の言葉は特に今日の私達日本人の胸に刺さる言葉ではないでしょうか。「最も悲惨(ひどく不幸)なことは、飢餓(食べるものがなく苦しむ)でも病気でもない。自分が誰からも見捨てられていると感じることです。」というテレサの言葉もこれからの超高齢化社会(65歳以上の人が、総人口に占める割合が21%を超えること)の日本にとって考えなければならない視点(物を見る立場)だと思います。老人に孤立感(ひとりぼっちでさびしい気持ち)を与えないような温かい思いやりの社会をつくっていくために「何ができるか」「何をしなければならないか」を、この冬休みに親子で話し合う機会をもつのもよいのではないのでしょうか。マザー・テレサの「誰かが何かをしなければ」という精神を私達も受け継いでいきたいものです。

どうぞ良いお年を!

## ★ 塾生紹介 ★

ながい むつき くん 永井 睦規 君	<氏 名>	うえの こういち くん 上野 暁一 君
札幌市立幌南小学校・2年	<学校(幼稚園)名・学年>	札幌市立手稲宮丘小学校・1年
算数	<好きな教科>	体育
スポーツ	<趣味(好きなこと)>	遊ぶこと
サッカーのコーチ	<尊敬する人>	新田先生
好きな食べ物はしゃぶしゃぶ	<その他>	好きな食べ物は中トロ
永井君はスポーツ、特にサッカーが好きなので、将来はサッカー選手をめざすのかな。しゃぶしゃぶ、しばらく我慢した方がいいかも知れませんが、先生も大好きなのですが。	<先生からのコメント>	上野君は、遊ぶことが大好きな少年なんです。素晴らしいことだと思えます。チビッコ弁論にも出てくれましたよ。新田先生を尊敬してくれるのはとても嬉しいけれど、少し照れてしまいます。